

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		都市公園整備事業（都市再生整備計画事業）						予算事業名		都市公園整備事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	都市再生特別措置法 都市計画法				
			08	03	05	2501	経常経費		都市公園法				
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう							事業の区分	主要事業				
	コンパクトで魅力あるまちづくり												
	公園・緑地の整備・充実							担当課係等	都市計画課				
事業期間		継続 （令和 2年度～令和 6年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
老朽化した南部公園、浦町児童公園を整備することにより、利用者に安全で安心な公園を提供し、市民の愛着のわく公園づくりを目指す。							結城駅周辺地区都市再生整備計画事業による公園環境整備						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
●都市再生整備計画事業 ・浦町児童公園トイレ改築事業 ・南部中央公園噴水広場改修工事 ・南部中央公園園路改修工事 ・南部中央公園多目的広場改修工事 ・南部中央公園遊具広場改修工事							地域住民及び公園利用者						
							【事業をとりまく環境の変化】 庁舎移転に伴う、公園バリアフリー化及びリニューアル整備 観光やイベント利用者への、衛生環境に配慮した整備						
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】					
・南部中央公園園路改修工事				・南部中央公園多目的広場改修工事 ・南部中央公園遊具広場改修工事 ・整備計画書策定（新規・変更）				・実施設計委託					
■事業費													
				R02年度		R03年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	1,491	6,996						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	2,000	9,400						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	238	1,616						
歳 入 計（千円）				3,729		18,012							
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）							
	11 役務費			0		38							
	12 委託料			3,729		484							
	14 工事請負費			0		17,490							
歳 出 計（千円）（A）				3,729		18,012							
伸 び 率（％）						383.02							
備 考	総合計画 65 ページ 予算書 148 ページ												

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	公園のリニューアル	箇所	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	南部公園リニューアル改修	%	目標	100.00	100.00	100.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	浦町児童公園トイレ改築	棟	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	庁舎移転に伴い人の流動が変化してきており、施設のリニューアルや改修により安全・安心な公園を提供するばかりではなく、街の活性化にもつながると考えられる
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公共施設の為整備は市で行うべきである。
	手段の妥当性	A 妥当である	国の交付金事業である、都市再生整備計画事業により行う事業である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	計画を立てて、財源の確保を行っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	幅広い年齢層の利用者や観光客等を対象としている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	都市再生整備計画事業により、計画に基づいた財源確保と整備が行えることが成果向上といえる。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	他の事業と重なる場合もあり、繰り越しなどの処置もしなくてはいけないこともある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
安定した交付金の確保の為、計画書の変更や、予算の確保を行うことが必要。また、計画書の作成できる職員の育成も必要である。計画書が作成できる人の確保も必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
都市再生整備計画事業は今後「立地適正化計画」により、様々な事業にシフトしていかなければならないので人材確保が必要である。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 令和5年度までの計画に基づく事業であるが、計画書（新規・変更）を策定し、公園整備を図っていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	